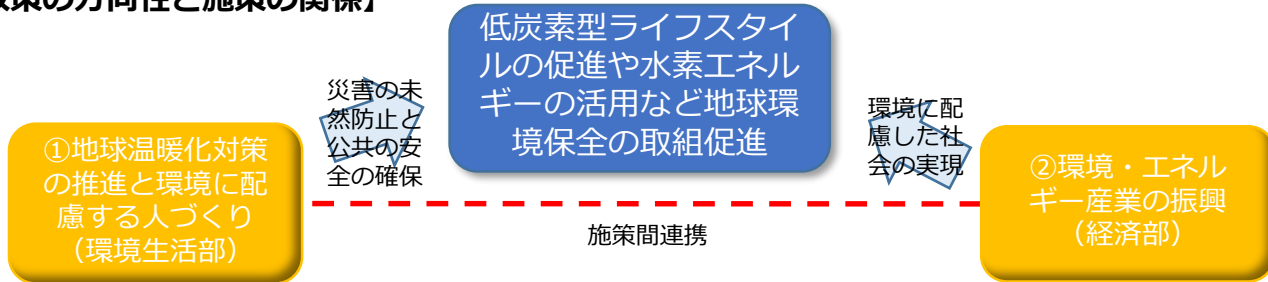


1 分野：生活・安心
 (4) 政策の柱：環境への負荷が少ない持続可能な社会の構築
 A 政策の方向性：低炭素型ライフスタイルの促進や水素エネルギーの活用など地球環境保全の取組促進

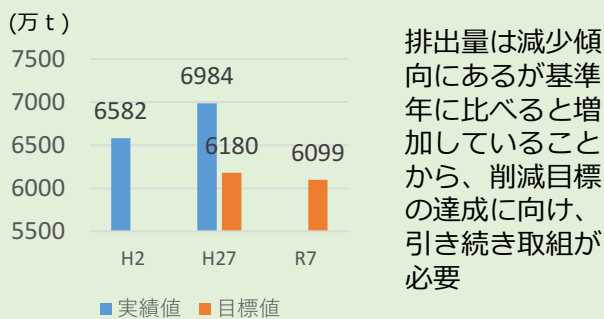
【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組	総合評価
①地球温暖化対策の推進と環境に配慮する人づくり	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出割合が高く、道民一人当たりの排出量は全国平均よりも高い 環境に配慮したライフスタイルの定着を図ることが必要 再生可能エネルギー・賦存量を有しているが活用しきれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境教育や普及啓発に関する事業の実施 ○省エネ3Sキャンペーンの展開 ○地球温暖化対策に資する事業を推進 ○自主的な環境学習への支援 ほか12の取組 	効果的な取組を検討して引き続き推進
②環境・エネルギー産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 将来にわたり、エネルギーが安定的に供給されることが重要 小規模企業では、省エネの取組が進んでおらず、その要因や課題を把握することが必要 エネルギー資源を最大限に活用する取組を進めることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模事業者における省エネ実態調査・ヒアリングを実施し、成功事例などの普及啓発 ○地域のエネルギー地産地消の取組を促進 ○水素関連ビジネスの推進 ほか2つの取組 	効果的な取組を検討して引き続き推進

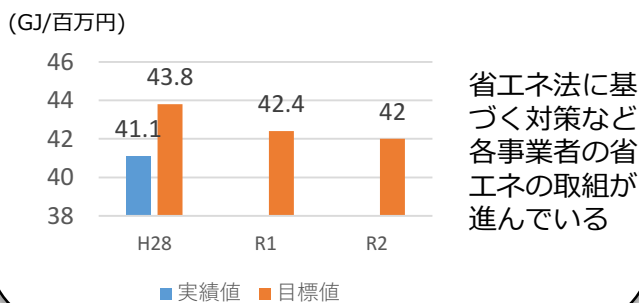
【総合計画の指標】

温室効果ガス排出量 (万t-CO2) (施策①②)



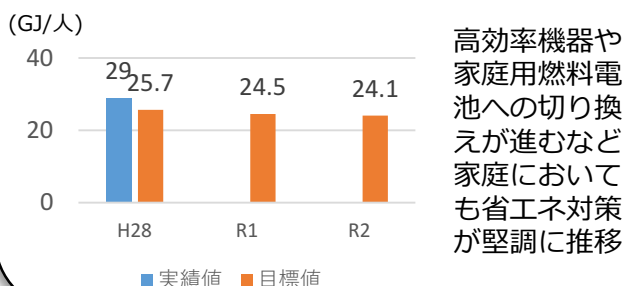
【関連指標】

エネルギーの効率的利用の目標【産業部門】
 エネルギー消費原単位(GJ/百万円) (施策②)



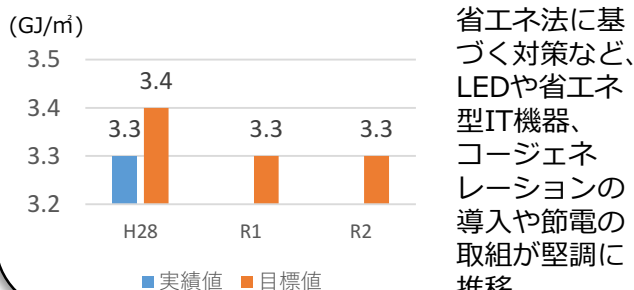
【関連指標】

エネルギーの効率的利用の目標【家庭部門】
 エネルギー消費原単位(GJ/人) (施策②)



【関連指標】

エネルギーの効率的利用の目標【業務部門】
 エネルギー消費原単位 (GJ/m²) (施策②)



【ほか2つの関連指標】